

【施設状況】

グループ名称	若槻公民館									
指定管理者名	若槻地区住民自治協議会「コミュニティわかつき」					法人番号	2700150073954			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課		副					
構成施設	3377	若槻公民館								
施設分類	01	企画型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	会議室(大・中・小) 各1、三登山ホール 1、料理教室 1、図書室 1、体育館 1									
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。									
基本方針等	地方自治法(第244条)教育基本法(第12条)の理念に基づく公の施設であることを念頭において社会教育法(第20条、第22条)に定める事業を、利用者の安全対策を図り、平等、公平な運営に努める。									
主な実施事業	・成人学校の開設 ・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業									

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	若槻地区住民自治協議会「コミュニティわかつき」			当該指定管理者の 指定回数	2 回	
指定期間	平成31年4月1日	～	令和6年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成28年4月1日
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)					3

2 施設の有効活用

		利用区分等	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用者数	人	19,168	16,489	22,845	24,927	109%	
		利用率	%	27.2	35.0	31.3	32.6	104%	
(特記事項)									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・若槻公民館の利用許可に関する業務 ・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・若槻公民館の設備及び維持管理に関する業務 ・教育委員会が定める業務や受講料の収受に関する業務 ・若槻公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務 ・施設、付属品及び物品の維持管理に関する業務							
	自主事業	提案を求めている							
サービス維持・向上の取組み (広報等)		・公民館報 3回／年 発行(全戸配布)。また、ホームページの更新により情報発信を行い、公民館活動の広報をした。 ・上記のほか、講座の開催案内にあたり、区長等の協力を得て、毎月3回程度チラシの回覧を行った。また、マスメディア(週刊長野、市民新聞)も活用した。							

3

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	4
		(2) 調査、会議等の内容	・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握をした。 ・貸館利用者は、利用簿の欄に要望を記入する欄を設け、利用簿返却時等に聞き取りを実施した。	
	利用者からの評価・苦情等	(3) 調査、会議等の結果	実施した一般講座:25講座(82回) 講座参加者数:1,385人 うち アンケート回答者数718人 満足:79.7% やや満足:19.3% やや不満:0.7% 不満:0.3%	
		(1) 良好とする評価	・高齢者学習事業として様々な分野の講座を行う「三登山講座」では、歴史・環境・音楽・スポーツなど全14回を開講した。受講生からは、「戸隠で発見されたものと同じアジサイを見ることができて感動した。やわらかい語り口で聞きやすかった。(ヒメアジサイについて学ぶ)」「この講座が開講されたことで地区のスポーツフェスティバルでも種目に採用され、楽しく参加できた。(ポッチャの体験)」などと好評であった。 ・「バドミントン講座」では、講師の一人ひとりのレベルに応じた優しく丁寧な指導が、幅広い年代層から好評であった。 ・施設については、気持ちよく安全に利用してもらうため、館内清掃と館内の見回りを徹底したことが、利用者に安心感を与えた。 ・利用者の立場に立った丁寧な接客や、必要最小限の職員数にも関わらず職員の協力体制ができていることが、利用者から評価されている。	
		(2) 苦情・改善等の要望事項	アンケートでは、やや不満・不満が全体の1%があったが、その内容は記載されていなかった。アンケート以外では、足に不安のある利用者から2階へ上がる階段がきついとの意見があった。	
		《対応措置》	ゆっくり気を付けて上ってもらうように伝えたり、場合によっては介添えを行いながら対応している。また、1階の会議室を利用するなど利用方法の変更などの提案している。	

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和5年度)				市の収支				評価	
		年度計画額		収支実績額			令和5年度決算		令和4年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額	項目	金額
	収入	利用料金	2,280,027	利用料金	2,832,350	歳入	使用料	3,750	使用料	0
指定管理料		13,744,000	指定管理料	13,744,000	雑(納付金)		210	雑(納付金)	0	
委託料			委託料		行政財産目的外使用料		6,000	行政財産目的外使用料	6,000	
販売収入等			販売収入等		貸付料			貸付料		
その他収入			その他収入		その他			その他		
計		16,024,027	計	16,576,350	計		9,960	計	6,000	
支出	人件費	8,663,000	人件費	8,540,590	歳出	指定管理料	13,744,000	指定管理料	13,744,000	
	設備管理費	233,552	設備管理費	232,922		委託料		委託料		
	備品購入費	92,005	備品購入費	100,000		需用費	0	需用費	26,950	
	修繕費	150,000	修繕費	128,460		役務費	0	役務費	3,850	
	光熱水費	1,680,000	光熱水費	1,748,970		使用料・賃借料	2,836,156	使用料・賃借料	2,835,156	
	事業費	3,169,800	事業費	2,632,500		修繕費	0	修繕費	88,000	
	事務経費	1,055,670	事務経費	1,925,051		工事請負費	594,000	工事請負費	699,600	
	本社経費		本社経費			備品購入費	924,000	備品購入費	240,372	
	その他	900,000	その他	801,200		その他		その他		
	計	15,944,027	計	16,109,693		計	18,098,156	計	17,637,928	
自主事業	収入		収入							
	支出		支出							
	自主事業損益	0	自主事業損益	0						
損益	80,000		466,657		差引	-18,088,196		-17,631,928		
人件費比率[人件費(賃金等)／令和5年度指定管理者事業支出](支出に占める人件費の割合)									53.0%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由										

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

管理運営全般	区分	確認内容		チェック欄	評価
	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか		☑	
		配置実績 (うち市内雇用職員数)	館長1人(1人)、主事2人(2人)、事務職員1人(1人)		
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		☑	
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いが適切に行われたか		☑	
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
	施設・備品の 維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		☑	
		2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか			
	セルフモニタ リング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		☑	
2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか					

6 危機管理体制

※ すべて ☒ で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」「4」「5」とする場合は、
評価理由欄に理由を記載してください。

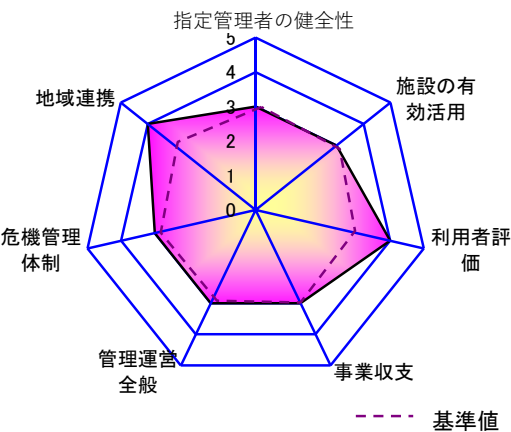
No. 78

危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		評価
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	4
	1 住民自治協議会各部会と協力して事業を行い、地域全体との連携を図る。 2 小・中学校・保育園・児童館と連携し、公民館事業を推進する。 3 講座・地元との連携を円滑に行うため、職員は可能な限り地元から採用する。 4 地域公民館の相談に対応し、連携を図る。		

【総合評価】

総合評価	評価項目	評価	得点	総合評価	
	指定管理者の健全性	3	6	合計得点	
	施設の有効活用	3	12		
	利用者評価	4	16	66	
	事業収支	3	6		
	管理運営全般	3	12		
	危機管理体制	3	6		
	地域連携	4	8		
	評価理由	【利用者評価を4とした理由】 ・利用者からの要望を講座に反映したこと、職員の親身な応対や職員の協力体制について利用者から好評を得ていること。 ・施設内の点検をし、修繕や備品の整備を速やかに行い、利便性と安全性を高めたこと。 を評価した。 【地域連携を4にした理由】 ・スマホ教室では、地元の学生がサポート隊として補助するなど丁寧な指導が好評であったこと。 ・新たに発掘しなくても地元講師が豊富に存在し、その活用が多いこと。 を評価した。			
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)		
次年度の目標・ 取組み等 (施設所管課)	・新型コロナウイルス等感染症防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。 ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。 ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。				

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

利用者が安全で快適に利用できるように施設内の整理整頓や清掃に努めた。利用者の声を聞き取り要望に応えられるよう努めた。

② 業務の効率化に対する取組み

・貸館表をカラー印刷した。休日が確認しやすくなり鍵の貸出しの確認などわかりやすくなった。
・講座の会場設営は以前まで当時の朝に行っていたが、会議室が開いている時間帯に早めに設営するようにした。職員の協力により準備が早く出来るようになった。

③ その他

体育館の窓側付近の雨漏り、二階廊下天井からの雨漏り等、修繕が必要な箇所が多々ある状況。また、東側駐車場が地権者の譲渡により利用が難しくなりこれからの公民館利用に不安を感じる。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

・災害時、被災した館の被災状況や、被災した館への復興支援対応(市公連の活用)などについて、直営も指定管理も関係なく情報共有することが必要。復興支援は、ボランティア登録以前の問題で様々な問題はありますがクリアしていただき、台風19号の経験を活かし早急に復興支援体制を樹立していただきたい。
・当公民館施設のほとんどが2階である。当公民館の主たる利用者は高齢者であり2階に上がる階段勾配がきつく段差の高さもあり足腰の弱い高齢者が利用するには非常に利用しづらい施設である。過去には、階段を下ろうとした高齢者が階段の途中から落ち怪我をした事故が発生しています。職員が事故防止のため声掛けや介添えを行っている。また、2階にはトイレの設置もなく、地元住民からは、誰もが安全に安心して公民館が利用できるようエレベーターの設置を強く希望されている。このことから、令和3年度の「ようこそ市長室」において当施設の建て替えを要望し、市長から建て替えまでの不便解消措置としてエレベーター設置と2階トイレ設置について提案された。しかし、市側から示された設置場所等では利便性が解決出来ず、設置費用も高額になることから、市長からいただいた提案を断念せざるを得ず、引き続き市に早期建て替えをお願いする。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

新型コロナウイルス感染症が5類となり、講座等の開講をするにもコトリがとれ施設内の感染の予防対策を取りながら、ほぼ予定した講座や事業が100%に近い状態で実施することができた。新規講座を含め、職員が一丸となって講座を開講することができ、地域の方に計画した講座を提供することができた。公民館として、当たり前のことを当たり前にできた。よって『C』とした。

② 次年度以降の取組み

・「出会い・ふれあい・学び合い」をキャッチフレーズに、絆をより大きく育てられる講座や学習を積極的に支援し、親子・地域の方が共に、人づくり・絆づくりができるよう学びの場、交流の場として親しみやすく明るい公民館を目指します。
・公民館を利用される皆さんが、ともに学び、ともに楽しみ、ともに育み、いつも笑顔で思いやりのある心と豊かな感性を育てる講座や健康学習などを積極的に推進し、世代を超え地域の皆さんが利用しやすい公民館を目指します。
・地域と連携し公民館活動の推進を図ります。
・感染の予防対策の徹底を行い講座の運営に努めたい。